

令和2年度

# 要覧



公益財団法人 日本教育公務員弘済会富山支部

〒 930-0018 富山市千歳町1-5-1 富山県教育記念館内

TEL 076-432-6562

FAX 076-432-1766

Eメール toyama@nikkyoko.or.jp

URL <http://www.nikkyoko.or.jp/company/toyama>

# 「教弘」の歩み

## "たすけあい"の輪

太平洋戦争後の1949(昭和24)年、日本人の心が未だ荒廃していた頃。「健全にして文化的な社会の建設は、教育の振興なしには望めない。」状況にあり、「教育の復興のためには、教職員の生活の安定を図ることが第一」との信念のもと、教職員の『頼母子』による共済事業が始められました。

静岡県で蒔かれたこの「一粒の麦」は、「教育にたずさわる仲間たちの“たすけあい”の輪を広げよう!」との願いのもと、先人の弛みない努力により全国に拡がり、1952(昭和27)年、日本教育公務員弘済会の創立に発展、1955(昭和30)年には、文部省から財団法人の認可を受けるに至ります。

## 「富山県教育公務員弘済会」が発足

富山県でも、小学校長会が、中学校長会や高等学校長協会等に呼びかけて、1957(昭和32)年、財団法人日本教育公務員弘済会の支部として「富山県教育公務員弘済会」が発足し、1984(昭和59)年には、財団法人の設立が認可されます。

教職員の福利厚生からスタートした弘済会事業は、公益事業へと発展し、奨学・教育研究助成・教育文化事業などの教育振興事業に拡大しています。

## 公益財団法人として

「県での運営基盤の安定を図る。」という使命を終えた財団法人富山県教育公務員弘済会は、2010(平成22)年4月、公益財団法人を目指して全国が一つに合併し、富山支部としてスタートを切りました。

また、公益認定等委員会からの答申を受けた内閣総理大臣は、2012(平成24)年4月、これを認定、「公益財団法人日本教育公務員弘済会富山支部」となりました。『公益財団法人』に認定されたことは、弘済会事業の原資となる「教弘保険(ジブラルタ生命との提携事業)から生ずる契約者配当金が事業資金となることの仕組み」が行政府によって認められたことになり、社会的信用度とともに社会的使命も高まりました。

富山支部は、事業量の拡大とともに質の充実を図って『民による公益の増進』に努め、富山県教育の振興に、また、教職員の福祉に資する弘済会であり続けたいと願っています。



# 組織と事業

- 1. 名称** 公益財団法人 日本教育公務員弘済会富山支部
- 2. 所在地** 〒930-0018 富山県富山市千歳町1-5-1  
富山県教育記念館内
- 3. 目的** この法人は、青少年の健全な育成に資するため、有為の学生・生徒に対する奨学資金の貸与及び給付、教育一般の特に有益な研究に対する助成等を行い、教育、文化の向上発展に寄与するとともに、教育関係者の福祉向上を図ることを目的とする。
- 4. 事業** この法人は、上記の目的を実現するために、次の事業を行う。  
(1) 有為の学生、生徒に対する奨学資金の貸与及び給付  
(2) 教育一般の特に有益な研究に対する助成  
(3) 教育、文化の振興に対する支援  
(4) 教育関係者の福祉向上  
(5) その他この法人の目的を実現するために必要な事業
- 5. 役員等** 幹事会 …… 幹事(9名)をもって構成  
運営委員会 …… 運営委員(30名)をもって構成  
監査会 …… 監査(2名)をもって構成
- 6. 事務局** 専任役員 …… 2名  
職員 …… 1名(中島直美)  
参事 …… 6名(澤木昇、平本道宏、藤岳亮子、稲垣妙子、窪正則、伊井朋幸)

# 役員一覧

役職名	氏名	所属・職
顧問	伍嶋 二美男	富山県教育委員会教育長
”	奥井 貞夫	(財)日本教育公務員弘済会富山支部元支部長
支部長	小林 福治	(公財)日本教育公務員弘済会富山支部
副支部長	坪池 宏	富山県教育委員会教育次長
専任幹事	清田 秀夫	(公財)日本教育公務員弘済会富山支部
幹事	宮口 克志	富山市教育委員会教育長
”	本江 孝一	富山県高等学校長協会会長
”	金谷 真	富山県中学校長会長
”	白江 勉	富山県小学校長会長
”	能澤 英樹	富山県教職員組合執行委員長
”	中田 正幸	(公財)日本教育公務員弘済会富山支部友の会代表
監査	水上 豊	富山市立呉羽中学校長
”	立石 浩一	富山市立桜谷小学校長

# 2019年度 弘済会事業のあらまし

## 教育研究助成事業

教育研究や実践活動への支援

個人・グループ・学校・教育団体・研究大会などに対し、奨励金や助成金を交付し、本県教育の充実・振興のための支援を行っています。

総額 1,921万円

教育団体研究助成	160万円	14団体
教育研究大会助成	354万円	103件
教育助成	495万円	(小)165校
課題研究奨励助成(平17~実施)	359万円	優秀賞20件 優良賞30件 538個人
経営改善助成(平21~実施)	381万円	(含む、奨励賞11)58件
現職研修助成	114万円	38団体
「教育実践報告集」刊行	58万円	930冊

## 教育文化事業

豊かな教育文化をはぐくむために

教育文化の向上を図り、その発展を目指すことを目的に支援を行っています。

総額 137万円

日教弘支部奨励金	80万円	4団体
文化振興助成	30万円	6団体
文化講演会(弘済会企画)	27万円	1件

## 奨学事業

無利息で貸与及び返済不要の給付

総額 2,050万円

貸与

有為な人材育成のため、大学・短大・専門学校で学ぶ学生に無利息で資金貸与を行っています。

貸与額 1,650万円 18名

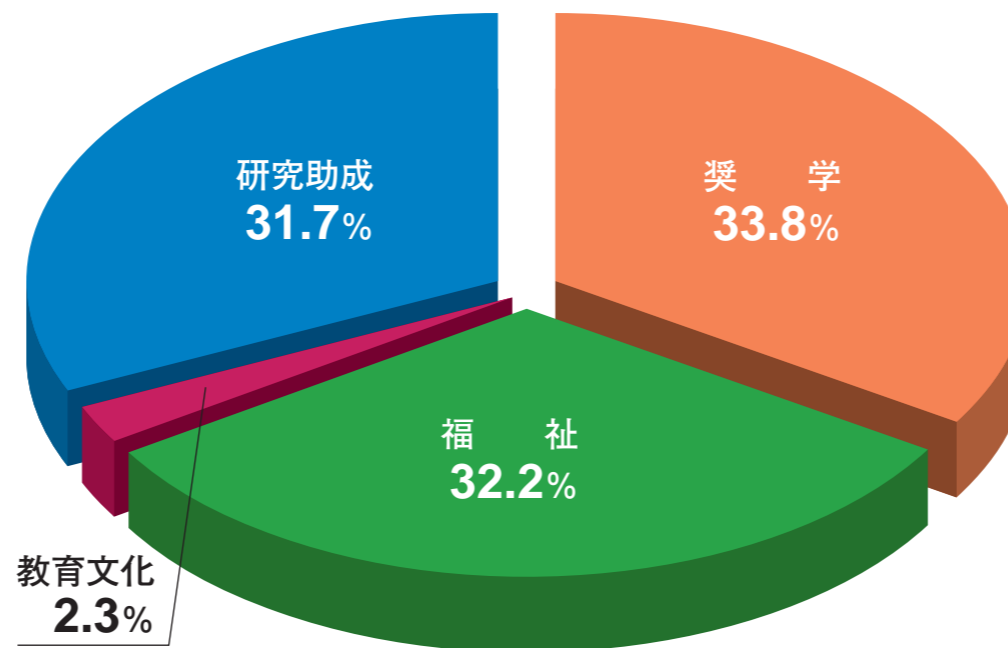
給付

修学意欲が有り、経済支援を要する高校3年生に奨学金を給付しています。

給付額 400万円 高校3年生 40名

## 弘済会事業の拡充

総額 6,057万円



## 福祉事業

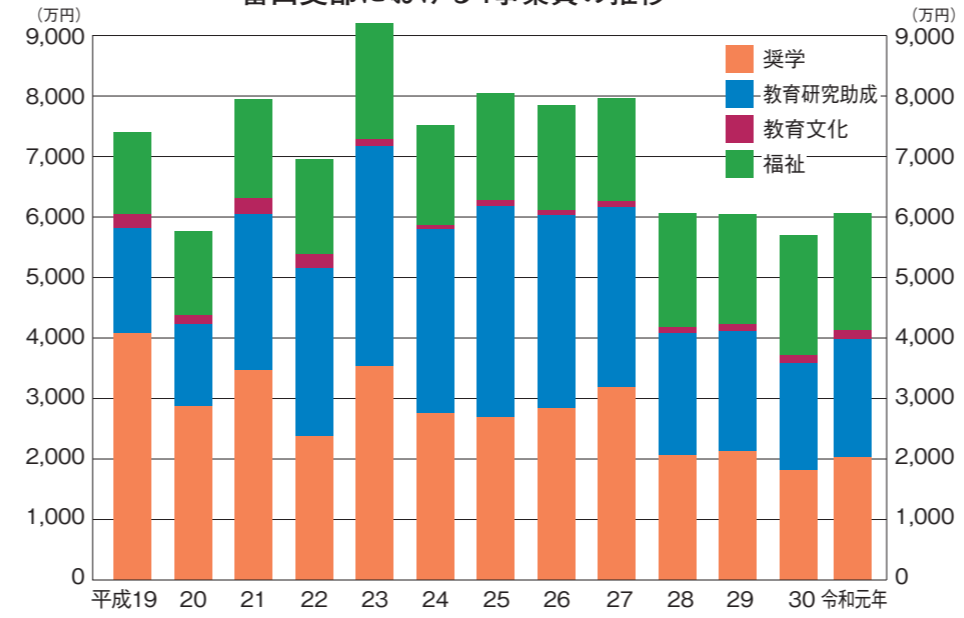
暮らしにうるおいを

教弘加入者の皆様に、より豊かな暮らしをしていただくために支援しています。

総額 1,949万円

結婚祝	80万円	80名
出産祝	126万円	126名
大学・短大入学祝	131万円	131名
高校入学祝	44万円	87名
家族弔慰	251万円	251名
本人弔慰	18万円	18名
火災見舞	0万円	0名
特別協力校(園)記念品	26万円	27校
加入継続記念品	60万円	260名
健康増進補助	941万円	1,367名
指定宿泊施設利用補助	210万円	813名
研修補助	12万円	12名
鑑賞・観劇補助	50万円	625名

富山支部における4事業費の推移

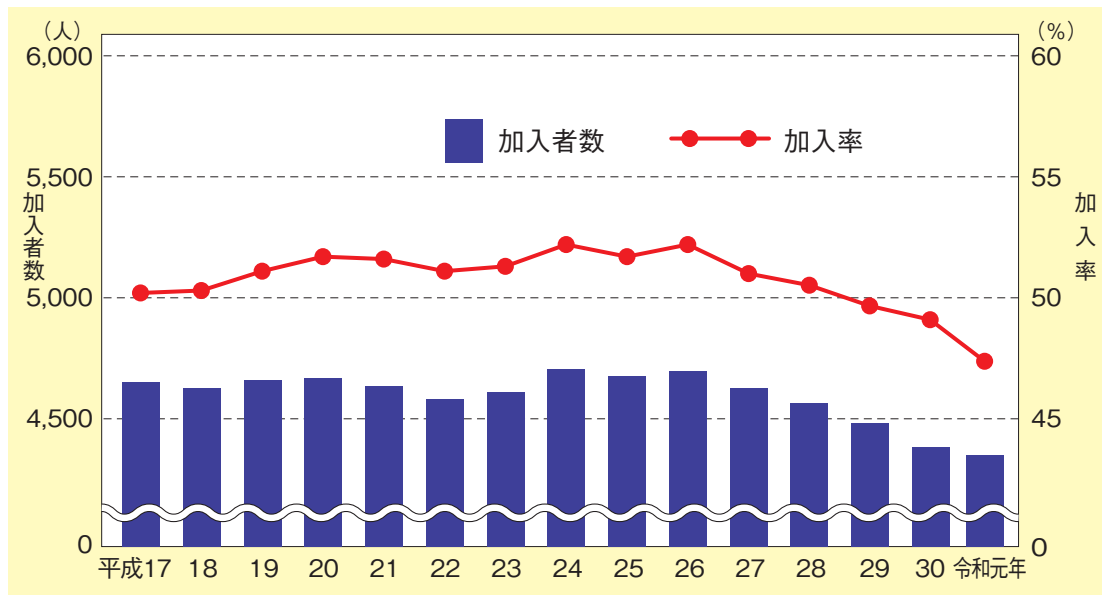


# 「教弘保険」は教職員を支えています

## 共済事業（提携保険事業）

※事業提携会社  
ジブラルタ生命保険

教弘保険への加入状況（現職）



“たすけあいの輪”を広げましょう!

- 富山県の教育の振興に役立っています。  
(奨学、教育研究助成、教育文化(助成)事業など)
- 福祉給付・補助があり、退職後も継続できます。
- 現職の教職員しか加入できない教職員のための「たすけあい」の保険です。
- 保険料が低廉です。(集団契約だから)

